「課題解決に向けての基本的な方策」の見直し比較

６　意識の醸成

現　在　の　計　画	１月８日　提出案	１月１５日　提出案
（１）基本的な考え方（Ｐ３０） 地域福祉を進めるためには，社会福祉の意義を市民自らが理解し，責任と自覚を持って参加・支援していくことが重要であるとともに，福祉サービスの受け手となる場合にも，必要なサービスを適切に利用していくという意識が求められていることから，こうした意識の啓発のための活動の充実を図ります。	（１）基本的な考え方 地域の課題について公的な福祉サービスだけでは対応することができなくなってきている状況を踏まえ，地域福祉を推進するためには，社会福祉の意義を市民自らが理解し，責任と自覚を持って参加していくことが重要であり，福祉サービスの受け手が場合によっては担い手になることもできることから，こうした意識の啓発に取り組みます。	（１）基本的な考え方 地域の課題について公的な福祉サービスだけでは対応することができなくなってきている状況を踏まえ，地域福祉を推進するためには，その意義を市民自らが理解し，責任と自覚を持って参加していくことが重要であり，福祉サービスの受け手が場合によっては担い手になることもできることから，こうした意識の啓発に取り組みます。
（２）現状と課題（Ｐ３０） 保健・医療・福祉をはじめ教育や住宅など，福祉のまちづくりに関わる分野に対する市民の「想い」を実現していくためには，市民自らが「サービスの担い手」として自覚し，様々な活動への参加などを通じた自己研鑽とともに，福祉の意義や地域の特性を知る学習の機会が必要です。 また，福祉サービスが，行政が決定する「措置」から利用者の選択に基づく「契約」へと変わるなかで，利用者の権利擁護事業の充実が求められています。 □利用者の尊厳の重視と権利擁護事業，成年後見制度の周知啓発 □研修・学習機会の提供 □ボランティア意識の醸成	（２）現状と課題 地域福祉を推進するためには，市民自らが福祉サービスの担い手であることを自覚し，様々な活動への参加などを通じて自己研鑽に励むとともに，福祉の意義や地域の特性を知る学習の機会を持つことが必要です。 □地域で支え合う意識の低下 □（削除） □福祉サービスに関する知識の習得 □ボランティア意識の醸成	（２）現状と課題 地域福祉を推進するためには，市民自らが福祉サービスの担い手であることを自覚し，様々な活動への参加などを通じて自己研鑽に励むとともに，地域福祉の意義や地域の特性を知る学習の機会を持つことが必要です。 また，福祉サービスを利用する人と提供する人が対等な立場にあるという意識を共有することが求められています。 □地域で支え合う意識の低下 □福祉サービスに関する知識の習得 □ボランティア意識の醸成 □福祉サービス利用者の尊厳の重視と権利の擁護に関する意識の啓発
（３）推進の方向性（Ｐ３０） 地域福祉を進めるためには，福祉サービスを必要とする人もそうでない人も，お互いに対する理解と思いやりが必要であり，「ノーマライゼーション」の理念のさらなる普及・啓発に努めます。 加えて，権利擁護に関わる制度等の広報を通じて，制度等の浸透を図るとともに，各種施策の情報提供，相談体制の充実を図ります。 また，各種サービスの適正な利用についての啓発を進めていきます。 ■ノーマライゼーション理念の普及啓発 ■研修・学習機会の提供 ■地域におけるマンパワーの掘り起こし ■出前講座等の機会を捉えた情報交換の場の提供 ■活動に対する相談体制の充実 ■サービスの質の向上	（３）推進の方向性 地域福祉を推進するためには，地域で生活する全ての人がお互いに理解し合い，思いやることが必要であることから，こうした意識のさらなる普及・啓発に努めます。 ■地域住民が主体となって活動するという意識の醸成 ■ノーマライゼーション理念の普及・啓発 ■福祉活動に関する研修などへの参加の促進 ■（削除） ■（削除） ■地域活動に係る相談体制の充実 ■（削除）	（３）推進の方向性 地域福祉を推進するためには，地域で生活する全ての人がお互いに理解し合い，思いやることが必要であることから，こうした意識のさらなる普及・啓発に努めます。 ■地域住民が主体となって活動するという意識の醸成 ■ノーマライゼーション理念の普及・啓発 ■福祉活動に関する研修などへの参加の促進 ■（削除） ■（削除） ■地域活動に係る相談体制の充実 ■（削除）

６　意識の醸成

現　在　の　計　画	１月８日　提出案	１月１５日　提出案
（４）策定委員会・地域懇談会での意見等（Ｐ３０） ■懇談会のような場に若い人が参加し，地域での活動や意見を知るようになれば，活動に参加しようという気持ちになるのではないか。 ■安心して暮らせるまちをつくるためには，住んでいる人の気持ち，隣を思いやる心を養っていくことが求められる。 ■携帯電話でやれるくらいのボランティアであれば，やってみたいという子どもが多いという調査結果もある。 ■子どもと障害者，高齢者のふれあいは，今後さらに求められるもので，地域とのふれあいの中で子どもが習得するものは多い。 ■民生委員ばかりに頼らずに，私達も地域でボランティアの意識を持って，各自が地域に関心の目を向けると，それだけ行き届いた支援体制ができるのではないか。	（４）策定委員会・地域懇談会での意見等 ■行政に負担を与えないようにするため，今後は高齢者同士で支えあうことも必要となるので，住民の意識を高めることが大切である。 ■ＰＴＡ，町会の行事で共通している悩みは，子どもは参加するが，親は参加しないことである。 ■地域の中で自分達を見守る立場の人達がいることを子どもに教えなければならない。また，大人は自分の子どもだけでなく地域の一員として地域の子どもを守る意識を持ってほしい。 ■子ども達には障がい者などに対する思いやりを育む教育が必要である。 ■若い人達を対象に，もっと福祉に興味を持ってもらえる行事を行うことが大事である。 ■福祉は受けるもので，自分から行動するものではないという意識が一般的であるため，サービスを受けた人が他の人を助けることもあるという意識を持たなければならず，そのために地域福祉計画があると思う。	（４）策定委員会・地域懇談会での意見等 ■行政に負担を与えないようにするため，今後は高齢者同士で支えあうことも必要となるので，住民の意識を高めることが大切である。 ■ＰＴＡ，町会の行事で共通している悩みは，子どもは参加するが，親は参加しないことである。 ■地域の中で自分達を見守る立場の人達がいることを子どもに教えなければならない。また，大人は自分の子どもだけでなく地域の一員として地域の子どもを守る意識を持ってほしい。 ■子ども達には障がい者などに対する思いやりを育む教育が必要である。 ■若い人達を対象に，もっと福祉に興味を持ってもらえる行事を行うことが大事である。 ■福祉は受けるもので，自分から行動するものではないという意識が一般的であるため，サービスを受けた人が他の人を助けることもあるという意識を持たなければならず，そのために地域福祉計画があると思う。
（５）私達ができること（Ｐ３１） ●地域での子育てやボランティアグループの活動などについて関心を持つ。 ●福祉を特定の人だけのものととらえずに，自分もいつかは関わる問題としてとらえる。 ●病気や要介護状態になる前に，日頃から健康に留意し，生きがいづくりの活動にも参加してみる。 ●福祉のまちづくりについて，自分ができることは何かを考え，実践してみる。 ●各種の交流会や学習会に積極的に参加し，知識の習得に努める。 ●サービス利用にあたっては，必要とするものを適正に利用するという意識を持つ。	（５）私達ができること ●地域での子育てやボランティアグループの活動などについて関心を持つ。 ●福祉を特定の人だけのものととらえずに，自分もいつかは関わる問題としてとらえる。 ●日頃から健康に留意し，生きがいづくりの活動にも参加してみる。 ●地域福祉について，自分ができることは何かを考え，実践してみる。 ●各種の交流会や学習会に積極的に参加し，知識の習得に努める。 ●（削除）	（５）私達ができること ●地域での子育てやボランティアグループの活動などについて関心を持つ。 ●福祉を特定の人だけのものととらえずに，自分もいつかは関わる問題としてとらえる。 ●自らの生きがいづくりとして地域活動に参加してみる。 ●地域の福祉に関心を持ち，自分の経験や知識を活かしつつ，できることから活動に参画していく。 ●各種の交流会や学習会に積極的に参加し，知識の習得に努める。 ●（削除） ●普段から何でも話し合える仲間や友達をつくり交流を深める。
（６）地域ができること（Ｐ３１） ●福祉に関わる身近な問題について話し合うなど，福祉について考え，理解する場を設ける。 ●地域の中で活動する場合に，福祉的な視点からの取組みを考えてみる。 ●町会館や集会所などで，高齢者や障害者，児童との交流を推進する。 ●地域で福祉ボランティア体験の機会をつくる。 ●地域の中で協力や分担できることを話し合う。 ●地域の中でバリアフリー化の点検と学習会を行う。	（６）地域ができること ●福祉に関わる身近な問題について話し合うなど，福祉について考え，理解する場を設ける。 ●地域の中で活動する場合に，福祉的な視点からの取組を考えてみる。 ●町会館や集会所などで，高齢者や障害者，児童との交流を推進する。 ●ボランティアなどの地域活動が体験できる機会をつくる。 ●地域活動において協力や分担のできることを話し合う。 ●（削除）	（６）地域ができること ●（削除：「１　地域での支援体制の構築」と「４　情報の共有化の促進」で記載） ●地域の中で活動する場合に，福祉的な視点からの取組を考えてみる。 ●町会館や集会所などで，高齢者や障がい者，児童との交流を推進する。 ●ボランティアなどの地域活動が体験できる機会をつくる。 ●地域活動において協力や分担のできることを話し合う。 ●（削除）
（７）行政ができること（Ｐ３１） ●教育と福祉施策の連携を深め，生きがいを実感できる生涯学習活動を支援する。 ●福祉活動への参加を通じた生きがいづくりや活動の輪を広げるための方策を検討する。 ●地域で交流会を開催し，自助や共助を支える意識啓発活動を推進する。 ●福祉のまちづくりに関する地域との共同事業の実施を検討する。 ●成年後見制度等のわかりやすい周知・啓発に努め，利用の促進を図る。	（７）行政ができること ●出前講座等の機会を捉えた意識の啓発 ●（削除） ●福祉活動への参加を通じた生きがいづくりを進める。 ●活動団体同士の交流の機会を設け，活動の輪を広げる。 ●地域で研修会や交流会を開催し，地域で支え合う意識を啓発する。 ●（削除） ●（削除）	（７）行政ができること ●学校において福祉教育を推進する。 ●出前講座や地域懇談会の開催等を通じて，地域福祉の意識の醸成を図る。 ●（削除） ●地域活動への参加を通じた生きがいづくりを進める。 ●活動団体同士の交流の機会を設け，活動の輪を広げる。 ●地域で研修会や交流会を開催し，地域で支え合う意識の醸成を図る。 ●（削除） ●（削除）